

練二通信

No. 402
令和2年10月30日
練馬第二小学校
校長 濱中 一

かけがえのない体験

〜今だから大切に味わいたい〜

校長 濱中 一

十月十五日に、東京ニューシティ管弦楽団をお招きし、本校体育館でオーケストラ鑑賞教室を行いました。コロナ拡大で区連合音楽鑑賞教室が中止になる中、幸運なことに練二小の高学年は、本物のオーケストラ演奏を聴く機会を得ることができました。子供と演奏者との距離、会場の換気等、綿密な感染症予防対策を行い、テレビで見ると、文化会館大ホールで聴くよりも、ずっと近い距離で本物の演奏を聴くことができました。残念ながら五・六年生のみは鑑賞となりましたが、素敵な時間を過ごした子供たちには貴重な体験となりました。

私が小学生の頃、春休みや夏休みに、母の実家である栃木の農家に一週間ほど滞在する機会が何度かありました。朝早くに大きなウウガオの実を収穫してかんぴょうにする皮むき作業を手伝ったり、ケチャップの原料となるトマ

トを野菜コンテナに何箱も収穫したり、大きな犬に引きずられながら田んぼのあぜ道を散歩したり、斧で薪割りをしている風景をたいたり。ゆったりと流れる時間の中で何気なく体験したことは、心に深く染みて自分の根底に流れ、私の一生の財産となつて、今の子供たちへの指導にも生かされています。

今年の状況の中、休日や長期休業に計画していた体験を自粛されたご家庭がきつと多かつたことと思います。学校でも、オーケストラ鑑賞教室が実現できた一方、今年は様々な校外学習や交流体験が縮小・中止となつています。当たり前のように毎年行ってきたことが、当たり前に行えなくなった今、体験学習のあり方について、改めて考えていく必要があります。

幸いなことに、貫井・向山の町には、二十三区の中でも周囲に畑や緑が残り、川が流れ、小さな自然が感じられる公園が点在します。練二小の敷地も緑が

多く、恵まれた広さの校庭、豊かな学環境が整っています。今年も恵まれた環境の中で、五年生は、六月に稲の苗を田んぼに植え、九月に実った米を収穫して脱穀・籾摺りする体験をしました。二年生は、学校園に植えた野菜の苗を観察し、実った野菜を収穫しました。

十一月には、一年生は地域の公園に秋を見つけに出かけ、三年生は近隣の青果市場で見学をします。十一月には、町会の皆様のご尽力により六年生のもちつき体験が計画されています。他にも、一・二年生の地域の畑でのいもほり体験、三・四年生理科の校庭での生き物見つけや太陽・月・星の観察体験・・・机上では味わえない直接体験は、きつと子供たちの心の中に残り、人格を形成する大切な財産の一部になることでしょう。

電車やバスを利用しての見学や体験ができない今だからこそ、学校や地域でできる体験の意義を子供たちについていかに伝え、じっくり大切に味わわせていきたいと考えています。

十一月二十八日(土)には、学芸的発表行事『たけまるアートフェスティバル』を行います。子供たちには、保護者の皆さんの前で発表する貴重な体験です。ぜひご来校いただき、子供たちの輝く姿をご覧ください。

十月の朝会より

○スポーツフェスティバル。100人が頑張る中、たった一人の気持ちが入らないだけで「100マイナス100」になってしまふ。100人の気持ちがそろえば「100プラス100」にすることもできる。心を一つにして頑張ろう。

○頑張っているスポーツフェスティバルを、支えてくれている人たちがいる。練習を応援してくれた家族。会場を準備してくれた人たち。当日見に来られないけれど応援してくださっている地域の皆様。感謝の気持ちをもちよう。

○四季がある国は、世界中にたくさんあるわけではない。秋は多くの食べ物が実り、秋の行事もある。空にも秋の空が広がる。いろいろな秋を探してみよう。

○離任式で、これまでお世話になつた先生方に感謝。お米の収穫や芋ほりなどの体験で、地域の皆様に感謝。感謝の気持ちを大切にしよう。

★今月の生活目標

・健康に気をつけよう。

★週の生活目標

- ・手洗い・うがいをする。
- ・休み時間は、外で元気よく遊ぶ。

十一月の行事予定

- 2 (月) 委員会活動
- 3 (火) 文化の日
- 4 (水) 就学時健康診断 (午前授業)
- 5 (木) 読書週間始
- 9 (月) お話の会 (三、四年)
- 11 (水) お話の会 (五、六年)
- 12 (木) 避難訓練
- 12 (木) A時程午前授業
- 14 (土) 研究授業 (五年二組)
- 14 (土) 土曜授業 (公開なし)
- 14 (土) 情報モラル講習会 (五年)
- 20 (金) 読書週間終
- 23 (月) 勤労感謝の日
- 25 (水) 午前授業
- 26 (木) 午前授業
- 26 (木) たけまるアートフェスティバル
「こより&タワー」集合制作
- 27 (金) たけまるアートフェスティバル
児童鑑賞日
- 28 (土) たけまるアートフェスティバル
保護者鑑賞日

学校公開について

○ 11月14日 (土)

授業公開はありません。

○ 11月28日 (土)

たけまるアートフェスティバルは、体育館の作品とミニコンサートのみ公開となります。教室での授業公開はありません。

その他、開催時間等の詳細については、後日、お知らせします。

たけまるスポーツフェスティバルを終えて

体育主任

今年度は全校で行う運動会ではなく、学年ごとに体育学習の公開を行うことにしました。密を避けてできるような運動内容を工夫して公開をしました。二、三、四年生は十月三日の土曜日に、一、五、六年生は雨天延期のために十月十二日の月曜日に行いました。

九月より体育の授業で練習をしてきた成果を発揮して、心をひとつに各学年の運動に取り組みました。一年生は「ボール運びリレー」と「チェックリ玉入れ」、二年生は「リズム体操・なわとび」と「五十メートル走」、三年生は「ラジオ体操・個人演技」と「五十メートル走」、四年生は「練二エイサー」と「全員リレー」、五・六年生は「なわとびオリンピック」と「五十メートル走」を行いました。

このスポーツフェスティバルを通して、子供たちは大きく成長しました。ここで学んだことをいろいろなところで生かしてほしいと思います。

大迫力！オーケストラ鑑賞教室

音楽担当

十月十五日、五・六年生対象にオーケストラ鑑賞教室が開かれました。いつもの体育館が音楽ホールに様変わりし、東京ニューシティ管弦楽団のオーケストラの演奏を存分に味わいました。

子供達は、一曲目「カルメン前奏曲」の華やかな響きにオーブニングから大興奮。自然と体を動かしながら楽しく聴いていました。アンコールを含めた全八曲のプログラム、あつという間の一時間でした。その後の授業では、六年生は木琴等を使って一番人気だった「つるぎのまい」の演奏に挑戦してみました。耳に馴染んだ旋律を楽しみながら、「やっぱりプロはすごい！」と実感しました。

コロナ禍の中、楽団の皆さんも自粛を余儀なくされていましたが、ようやく演奏活動を再開できるようになったそうです。音楽の喜びを届けたいという熱い思いは、子供達にもきつと届いたことと思います。

近隣のホールでも少しずつコンサートを再開していますので、機会がありましたら、ぜひお子さんと足を運んでみてはいかがでしょうか。

「箏に親しもう」

日本伝統文化体験教室

音楽担当

十月二十三日、三十日、四年生が箏の演奏を体験しました。

初めて目にする箏にわくわくしながら講師の先生の音色をよく聴いて、さっそく「さくらさくら」に挑戦しました。最初は楽譜に書かれている数字の糸を探すだけで精いっぱいでしたが、友達と協力して練習をしていくうちによりよ

読書週間について

図書館部

例年十月後半から読書週間となっていました。今年度は、十一月五日(木)から十一月二十日(金)までの約二週間が、練二小の読書週間です。

この期間は、図書委員会の児童が集会で新しい本の紹介をしたり、朝学習(きたえ)の時間を読書の時間に行ったりします。また、図書室の中に、教職員による「おすすめの本」紹介コーナーが設置され、毎年子供たちの楽しみの一つになっている様子です。

十月後半からは、学級毎に図書館支援員によるブックトークが行われ、今月は、放送朝会で校長先生と副校長先生から本に関するお話を聞く時間もありません。子供達の頃に読んだ本、読んでもらった本は、ずっと心の宝物になると思います。コロナ禍で思うように外出できない今の時間を有効活用し、是非、ご家庭でも親子で一緒に読書を楽しんだり、好きな本の話をしたりして、すてきな時をお過ごしください。